

総合科目「舞台芸術に触れる」新開講！

みなさんは、どのくらいの頻度で劇場に行って生の芝居やダンスを観ていますか？

本学では、かなりの学生が語劇を通じて演劇にたずさわっています。語劇は毎年
の外語祭を支える大きな柱のひとつで、26ある専攻語の学生たちが自分の専攻する
言語で劇を上演するものですが、それほどまでに演劇が身近であるはずの外語大で
も、実際に劇場に足を運んで舞台上のパフォーマンスに触れている学生は多くない
ようです。

そこで、「生きた言語修得のための26言語・語劇支援」（通称「語劇GP」）委
員会では、もっと劇場に行きたくて欲しい、生の舞台を観て欲しい、という観点から
総合科目の授業を開講することになりました。新国立劇場の協力を得て、教室での講
義＋実際の舞台鑑賞という内容で授業を構成します。

講義では：

教員だけでなく、演出家や新国立劇場のプロデューサーなど舞台作りの
プロフェッショナルが登場して、演劇・オペラ・バレエといった舞台芸術
を生で観る楽しみ、コツについて語る予定。

舞台鑑賞では：

新国立劇場のアカデミック・プラン（学生向けの優待制度）を活用し
て、受講生各自（ここが大事）が観る演目を決め、自腹を切って（ここも
大事）券を購入し、舞台を観ることになります。

これで興味がわいたら、シラバスも見てください。詳しいスケジュールに
ついては、初回の授業

- 4月16日（月）5限（16:30～18:00） 101教室 -

でお知らせします。

もちろん、総合科目はすべての学生にひらかれています。1年生から4年
生まで、語劇に関心があってもなくても、受講大歓迎です。舞台芸術に触
れるということは、言葉・身体・空間把握・劇場という「場」に蓄積され
た文化・・・などなど、様々な問題について考えるということでもあるの
ですから。

「生きた言語修得のための26言語・語劇支援」委員会